

第1回 豊橋市行財政改革プラン外部検証委員会

1. 開催日時 令和元年7月1日（月）午後2時00分～午後3時20分
2. 開催場所 豊橋市役所東41会議室（東館4階）
3. 出席者 委員3名（石原委員長、酒井委員、塩瀬委員）
豊橋市6名（吉原総務部長、前田行政課長、野中行政課主幹、
戸苅行政課長補佐、石川行政課主査、土屋行政課担当）
4. 会議概要 以下のとおり

発言者	要旨
事務局 (行政課長)	<p>ただ今から、第1回豊橋市行財政改革プラン外部検証委員会を開催いたします。</p> <p>委員長が決まるまで本日の進行は、私、豊橋市役所行政課長の前田が務めさせていただきます。</p> <p>本委員会は、「附属機関等の設置及び運営の基準に関する要綱、第9条第3号」の規定により、原則として公開し、会議は傍聴を可能とした上で、議事録を取り、ホームページ等で公開したいと考えておりますので、ご了承ください。</p> <p>はじめに委嘱状の交付でございます。本来ですと市長より皆様お一人お一人にお渡しするのが本意ではございますが、略式で失礼とは存じますが、あらかじめ皆様方のお手元に配布させていただいております。各々ご確認いただきますようお願いいたします。</p> <p>はじめに総務部長の吉原より一言ご挨拶申し上げます。</p>
総務部長	<p>総務部長の吉原です。</p> <p>委員の皆様におかれましては、お集まりいただきまして、ありがとうございます。</p> <p>平成30年度は、「豊橋市行財政改革プラン2016」の折り返しの年にあたります。今年度はより行財政改革を推進するため、9月頃に第3回の外部検証委員会を開催したいと思います。どうぞよろしく申し上げます。</p>
事務局 (行政課長)	<p>続いて、今回委員の交代がありましたので、委員長の選任を行いたいと思います。設置要綱5条第2項にありますとおり、委員長は委員の互選により選出することとなっておりますので、どなたか発言をお願いします。</p>

発言者	要 旨
酒井委員	<p>これまでの行財政改革プランの評価や行財政改革プラン2016の策定に至るまで、委員長として経験の深い石原俊彦委員に引き続きお願いしてはと思いますが、いかがでしょうか。</p>
事務局 (行政課長)	<p>酒井委員から石原委員を推薦というご発言がありました が、いかがでしょうか。</p> <p>《異議なし》</p> <p>異議がないようですので、委員長は石原俊彦委員に決定 します。それではここからの進行を、委員長の石原委員にお願 いしたいと思います。</p>
石原委員長	<p>石原です。どうぞよろしく申し上げます。</p> <p>それでは、続いて副委員長の指名を行います。設置要綱に ありますように、副委員長は委員長の指名によることとなっ ております。私としては引続き功刀委員にお願いしたいかと 思います。なお、功刀委員には事前をお願いをしております。</p> <p>それでは、続いて行財政改革の取組等について事務局より 説明をお願いします。</p>
事務局 (行政課主幹)	<p>《今年度の評価の流れ、昨年度の外部評価に対する対応 及び行財政改革の取組について説明》</p>
石原委員長	<p>はい、ありがとうございました。</p> <p>それではここからは、皆様との自由な意見交換の場としま いと思います。</p> <p>先ほどの事務局からの説明に対する質問でも結構ですし、 ご意見でもかまいません。自由に意見交換をお願いします。 では、私から質問します。</p> <p>近年財政の見通しがうまくできていなかった自治体で、財 政状況の悪化が顕在化しており、決算時に剰余金で財政調整 基金を積むことのできない団体が増えてきています。</p> <p>豊橋市はこの点についてどのような状況でしょうか。</p>

発言者	要 旨
事務局 (行政課長)	本市においても、財政調整基金の残高は減ってきています。平成30年度中に市税の増収によって、財政調整基金の取崩しをその分留保することはできましたが、決算において財政調整基金を積むべきものを先に積んである状態です。
石原委員長	豊橋市では市民病院に手術支援ロボットを導入していると思うのですが、それらシステムの更新費用だとか、上下水道の管路の更新、介護保険の負担金などについて検証が必要なのではないでしょうか。
事務局 (行政課長)	企業会計への繰出し金や介護保険の負担金などについては今後検証していくことが必要だと考えています。
石原委員長	内部統制についてですが、豊橋市では価格漏えいなど入札において重大な事件・事故は起こっていませんか。
事務局	入札における価格漏えい等の事故は起こっていませんが、最低制限価格の計算誤りをした事故が昨年度発生しました。具体的には価格を算出する過程の端数計算が誤っていたものです。
石原委員長	総務部の取組としてはイベントの見直しを行っていますね。取組の内容と効果額はどれくらいですか。
事務局	平成28年度に総務部と財務部で全庁のイベントについて、ヒアリングを行い、イベントの統合・廃止等見直しを行いました。金額としては一年度あたり4,000万円程度の効果です。
酒井委員	施策番号1「事業の見直しによる経費節減」を見ると指標である「経済的効果額」が順調に増えています。具体的にどのような取組を行っているのか教えてください。
事務局	取組として大きいのはバイオマス利活用センターを運用することにより、資源化センター等の更新費用を抑制する取組です。こちらの取組で大きな経済的効果額が上がっております。
石原委員長	プラン全体の経済的効果額の達成のためには、令和元年度もしくは2年度に効果額の大きい取組が必要ですね。

発言者	要 旨
石原委員長	職員の地域手当の見直しを行ったということですが、地域手当の支給割合が上がるのですか下がるのですか。
事務局	支給割合が下がります。支給割合を6%から国基準の支給割合3%に段階的に下げていきます。
塩瀬委員	施策番号3「市税及び税外債権の収納向上対策の実施」のうち、事業者に対して個人住民税の特別徴収義務者として指定をするという取組についてですが、事業者にとっては、個人住民税の住民税特別徴収事務を行うことは、事務負担が増えることとなります。それに見合った効果があるか教えてください。
事務局	<p>取組の指標である「特別徴収率」は、平成29年度83.4%のところ、平成30年度は、83.6%と少し上昇しております。</p> <p>特別徴収率の上昇に伴い、個人住民税の納付率の上昇に寄与しているものと考えています。</p>
塩瀬委員	施策番号20「給与の適正化」についてですが、人件費が平成29年度と30年度を比較すると増えています。この点についてどのように考えますか。
総務部長	<p>減員だけでなく、新規事業等を行う必要により増員も行っております。全体としては、人件費は増加傾向にあります。</p> <p>中長期的にはICT等を活用するなどして事務の効率化を更に進め人件費の抑制に努めていこうと考えています。</p>
石原委員長	<p>人件費については、総額で議論するだけでなく、地方交付税において、人件費がどれだけ算定されているかといった視点も必要になってくるかと思えます。</p> <p>地方交付税等を除いて、実際市民が収めた税金がどれだけ人件費に使われているかといったデータが必要だと感じます。</p> <p>施策15「職員の能力開発及び有為な人材の確保」についてですが、東日本大震災以降全国的に技術職の職員を採用するのが難しいと聞いています。現状について教えてください。</p>

発言者	要 旨
総務部長	<p>本市でも技術系学生の採用募集への応募が少なく苦勞しています。特に土木職が少ないです。</p> <p>その現状を踏まえて工事現場のツアーや過去初任給の引上げなどを行いました。が、欠員状況にあります。</p> <p>現在、事務職でできる事務は事務職にやらせ技術職職員の不足に対応しています。</p>
石原委員長	<p>豊橋市でも技術職が不足しているということは、東三河地域全体でも土木職が不足しているということですね。</p> <p>さて、そろそろ時間もせまっております。この後重点推進項目について委員の外部評価を記入し、事務局に送っていただくこととなります。</p> <p>それでは、事務局から連絡をお願いします。</p>
事務局	<p>次回第二回の外部検証委員会は8月1日13時30分からを予定しております。</p> <p>内容は、いただいたご意見をもとに外部評価のとりまとめをしていただきたいと思います。</p>
石原委員長	<p>これで、本日の委員会を終了いたします。</p> <p>本日はありがとうございました。</p>